



R. I DISTRICT 2650
ROTARY CLUB OF

MARUOKA

会長 藤本 豊 幹事 水上智愛

創立 昭和53年3月21日 承認 昭和53年4月6日
http://www.maruoka-rotary.com/ (No.14497)

今回例会 第1391回
平成18年8月9日(水)
会員卓話
『なぜ親睦活動が大切か』
横山親睦活動委員長
『音楽は心を和やかにする』
中澤ソング委員長



率先しよう



Mutual Trust
奉仕の感動を分かち合おう。

次回例会 第1392回
平成18年8月11日(金)
納涼家族会
三国花火鑑賞会
17:30 丸岡総合支所 出発
会場:九頭竜ポートパーク内

ビル・ボト R・I会長 平井義久ガバナー

今日のローターリーソング

『りんごの歌』



会長報告 (8/2)

お客様のご紹介をします。

後ほど卓話をさせていただきます勝山市文化財保護委員の増田公輔様です。



そして、もうひとかた、近い内にクラブに入ろうかなど考えていらっしゃる吉田秀人様です。ようこそいらっしゃいました。我々のローターリーを見て下さい。



今年は長い梅雨が続いていつ明けるのかと思っていました。梅雨が明けたとたん30度を越す暑さとなっています。ばてない様に身体を調整し、例会に欠席しないように頑張ってください。

幹事報告

ガバナーより

※ ローターリー財団強化袋の依頼と強化のお願い

※ 第8回韓日親善会議ご参加へのお願い

福知山RC「第18回平井義久ガバナー杯」野球大会開催延期

地区の行事との重複の為、来春に変更します。

会報一福井北RC・島原南RC

ローターアクトNEW

第1390回例会 委員会報告 (8月2日現在)

プログラム委員会 9月予定表

9月	6日	奨学生卓話	米山奨学生 楊君卓話
	13日	会員卓話	釣部ニコニコ箱委員長 竹内出席委員長
	20日	クラブ協議会	公式訪問に備えて
	27日	公式訪問	ガバナー公式訪問

出席委員会

会員数	出席	欠席届有	欠席届無	メークアップ	出席率%
36	32	3	1	0	88.88

ローターリー財団特別寄付(個人寄付)・・・(ABC順・敬称略)

藤本・林田(千)・林田(数)・東・北・前田・前川・中田・中山・下田・竹澤・釣部・山田

(本日14件50,000円 本年度累計192,000円)

米山記念奨学会(個人寄付)

藤本・前田・前川・中田・中山・下田・釣部

(本日8件 42,000円 本年度累計151,000円)

ニコニコ箱・・・(ABC順・敬称略)

藤本一増田様本日は卓話ありがとうございます。年度が変わって1ヶ月が過ぎました。後1ヶ月です。よろしく。

林田(千)一増田さん暑い中ありがとうございます。

吉田さん、ぜひ入会を

林田(数)一財団年次袋寄付いつもありがとうございます。

林田(恒)一欠席が続きまして申し訳ありません。

東角一8月6日には古城グリーンロードレースがあります。

観戦よろしくお祈いします。

前川一ゴルフで優勝できました。

水上一増田様卓話ありがとうございます。

野尻一早速させて頂きます。

下田一増田様卓話有難うございます。

高尾一仕事の都合で退席します。

竹内一早速させて頂きます。

釣部一吉田さん、ぜひ入会下さい。

本日の合計	本日迄の累計	前年度との比較
22,001円	266,001円	302,000円

県内クラブ
例会日

月曜日

福井東 福井厚生年金
敦賀西 サルビア 敦賀
PM7:00 点鐘

火曜日

福井南 織協ビル8F
勝山 市民活動センター
武生 武生商工会館
若狭 小浜商工会議所
福井フェニックス リゾートホテル
PM6:30 点鐘

水曜日

福井北 リゾートホテル
敦賀 北陸銀行敦賀支店
鯖江北 神明公民館
福井水仙 神明神社
PM6:30 点鐘
丸岡 JA花咲ふくい丸岡支店

木曜日

福井 ユアーズホテル
武生府中 JA越前たけふ

金曜日

福井西 グラントリア
三国 三国観光ホテル
大野 リブレ 4F
鯖江 鯖江商工会館
あじさい リバーゲアビル

卓話

林田千之プログラム委員長

本日卓話を頂きます増田公輔様は勝山市文化財保護委員、勝山市人権擁護委員をされています。新聞を見てこの方のお話を聞いてみたいとお電話いたしましたところ快くお引き受けを頂きました。十余年前に遺品の中から手帳が見つかりパソコンで打っていましたが本にした方が良いのではないかと思います。今日の話に基づいて戦争について夫々が考えていただければと思います。



『日本兵の心情を一冊に』

こうぼ
増田公輔 様

本日は伝統あるロータリークラブにお招きいただきましてありがとうございます。勝山では何回かロータリークラブでお話させていただきましたが、市外に出るのは初めてです。先日新聞に出ましたのでこのようなお話を頂きました。

今、戦争についてテレビとか新聞・書籍に取り上げられています、特に今年は昭和12年の日中戦争より70年目になるので特集番組が続いています。8月13日に9時より75分番組があり、日中戦争はなぜ拡大したのかというテーマで放映されます。その時、陣中日記を何冊か基にしたものを取材して番組を作っているようです。

5月に私の村にも取材に来ました。他にも福井大学の隼田名誉教授も陣中日記を何冊か出版しています。隼田先生に出版に当たり相談しましたので私のところにも取材に来たのでしょう。

私は昭和5年生まれの76歳ですが戦争体験はありません。旧制師範の、学徒動員で足羽山の隣の飛行場でプロペラの部品作りで一年間働いていて、空襲にもありました。終戦時は15歳でしたので戦争の臭いのかいで育ったかなあとと思います。

日記は、私の村で区誌を作った時、村の人に戦争中の軍事郵便とか資料が無いだろうかと尋ねました。その時、小さな手帳が三冊見つかりました。最初見たときはぎっしりと書いてあるので何が書いてあるのか判らなかつたです。読んでみますと日中戦争の上海～南京攻略～徐州の会戦～武漢三鎮の四つの大きな戦争のことが1年あまりにわたって書かれていました。途中マラリアにかかりながらも怪我も無く帰ってきています。

寝ていても迫撃砲が飛んできて周りで沢山の人が死んでいて、幾度も命拾いをしながら従軍、30キロ程の背囊を背負いながら山や町を歩く。徐州などでは水筒の一杯の水を飲みながら麦畑を歩く。戦場では多くの方がコレラ・マラリアで死んでおり、厳しい戦争体験が書かれていますが、書いた人は伍長です。この日記は一兵士の見た目線で書いています。

私も読んでいくうちに何度も感動を致し、何とか皆さんに紹介できないものかと思いました。

これを書いた方は私より15歳先輩です。交流がありましたが亡くなられてから息子さんがこの日記を持ってきました。

翻刻という形で出版しました。この翻刻というのは一字一句そのまま書きます。誤字があった場合も脇に注釈をつけます。

日記の中で、一兵士の見た戦場を見直してみたいと思います。兵士たちは何を考えて戦争をしたのか？

南京大虐殺で30万人それ以上を殺したといわれるのですけれどどうなんだろうか。本当にあったのだろうか？日記を通して解らないだろうか？

彼は昭和12年9月の大動員で出兵しました。

戦争が長引いて昭和20年の終戦まで続きました。兵士たちはどう思っていたのだろうか。兵士たちは上海事変で日本に帰れると思っていたみたいです。けれど実際にはどんどんと長い戦争になってきました。

南京大虐殺はあったのか？ 真実は…。

実際には住民を惨殺した事は無かつたのではないかと思います。

4、5日後に南京に入った時、理髪店で散髪をしていたり店を開いているとか書かれています。非常に平和な様子が書いてあります。しかし、実際には敗残兵が日本兵に追い詰められて死んでい

るという事実はあるようです。

兵士の戦争の目的

日記の中にも当時の政府の声明の中にも「暴支庸懲」があり、言う事をきかない支那軍を懲らしめる。中国の排日運動抗日運動は日本を侮っている、侮蔑していると思われそれをやっつけるとしています。そうすればアジアが平和になると考えていたみたいです。

この本の出版の意図は、この戦争で日本は国力を尽くして戦ったと思います。私たちはこの戦争で何を失ったのか、何を学んだのかということを考えてみる必要があると思います。今日の日本の豊かで平和な社会の実現の為に何百万人という犠牲になった人が日本にいます。犠牲と戦争に対する反省、戦後の混乱の中で必死に働いて今日の日本があるという事を知らなければならぬと思いました。戦争はしてはいけない。戦争の教訓を重く受け止めて欲しいと思います。



事務局 〒910-0254 Tel (0776) 67-0410 / Fax (0776) 67-4811

福井県坂井市丸岡町一本田34-7 JA花咲ふくい丸岡支店2F

例会場 JA花咲ふくい丸岡支店3F

例会日 毎週 水曜日 12時30分 会員数 37名

会報委員長 高尾 誠 副委員長 稲葉 治

委員 川端克治 下田重道